

## 児童の受動喫煙状況を可視化する取り組みをモデル的に実施します ～小学4年生を対象とした尿中コチニン値測定を実施～

千葉市では、子どもの受動喫煙による健康被害を防止するための取り組みの一環として、小学4年生を対象とした尿中コチニン値測定を実施しますので、お知らせします。

### 1 趣旨・目的

受動喫煙の健康影響が大きい未成年者については、令和2年4月施行の千葉市受動喫煙の防止に関する条例で、その保護について規定している。

そこで、児童及び保護者が、受動喫煙の状況を正しく理解し、適切に回避行動がとれるよう、児童の受動喫煙状況を可視化する取り組み（尿中コチニン値測定）をモデル的に実施する。

### 2 対象者

若葉区内の市立小学校20校に通う小学4年生 1,104人

（家庭でタバコを吸っている人がいるかどうかにかかわらず、児童全員を対象とし、保護者に検査希望の有無を確認する。）

### 3 内容

#### <保護者>

- ・事前質問票によるアンケート調査(別紙参照)  
子どもの受動喫煙状況を適切に把握するため、家族の喫煙状況のほか、受動喫煙への意識等を伺う。
- ・結果通知と一緒に、児童を守るための受動喫煙回避行動等の情報提供

#### <児童>

- ・尿検査（尿中コチニン値測定）  
尿中に含まれるコチニンの濃度を調べ、子どもの受動喫煙状況を客観的に把握して、家庭に知らせることで、受動喫煙にあう機会を減少させる。
- ・自分を守るための受動喫煙回避行動等の学習（※小学校で実施）

#### 4 実施スケジュール

令和元年10月11日～	保護者へ事前質問票を順次配付
令和元年12月上旬	尿検査の実施（※小学校で尿回収）
令和2年2月中	尿検査の結果返却 ＜保護者向け＞児童を守るための受動喫煙回避行動等の情報提供 ＜児童向け＞自分を守るための受動喫煙回避行動等の学習 （※小学校で実施）

#### 《参 考》

##### 1 受動喫煙とは

他人が吸っているタバコから立ちのぼる煙や、その人が吐き出す煙を吸い込んでしまうことをいいます。いずれの煙にもニコチンやタールなど多くの有害物質が含まれており、それを吸い込んだ人にも影響を及ぼします。

一般に、子どもは体が小さく機能も未熟なため、タバコの影響を受けやすいと言われています。

##### 2 コチニンとは

タバコの煙を吸い込むことで体の中に入ったニコチンは、コチニンという物質に変わり、尿中に排泄されます。コチニン自体は有害ではないとされており、単にどれだけのタバコの煙が体内に入ったかを測定するために使用されます。

値は、遺伝的要因やその日の体調、受動喫煙を受けてからの時間等によっても左右されますが、子どもがどの程度の受動喫煙を受けているか（検査1～2日前の受動喫煙の状況）を知る目安になります。

##### 3 喫煙者の平均的な数値とは

非喫煙者（100人）の平均値 5 ng/ml に対して、喫煙者（94人）の平均値は、1,391 ng/ml という調査結果（Jarvis Mらによる、1984）があります。

なお、コチニン濃度と喫煙本数とは、高い正の相関性を示すとされています。